

2026年度 (秋期)

受 験 番 号

大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 博士前期課程 入学試験問題

「小論文」 1/2

- 注意 (1) すべての問題用紙・解答用紙に受験番号を明記すること。
- (2) 解答用紙に科目名及び問題番号を明記すること。
- (3) 試験時間内の退室はできない。

次の2問について答えなさい。(70点)

全世代型社会保障とは、「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心となっているこれまでの社会保障の構造を見直し、年齢に関わりなく全ての世代が能力に応じて支え合い、必要な給付がバランスよく提供される、持続可能な社会保障を目指すもの」である。厚生労働省（第33回社会保障審議会、令和7年2月3日）は、「全世代型社会保障構築を目指す改革の道筋（改革工程）の進捗について」のなかで、全世代型社会保障構築の目指すべき方向性として①現役世代の負担軽減、②社会保障制度の支え手を増やすことを取り上げている。

問1.【資料1】から、我が国が直面している人口問題とこれから生じる社会保障の課題を論述しなさい。(30点)

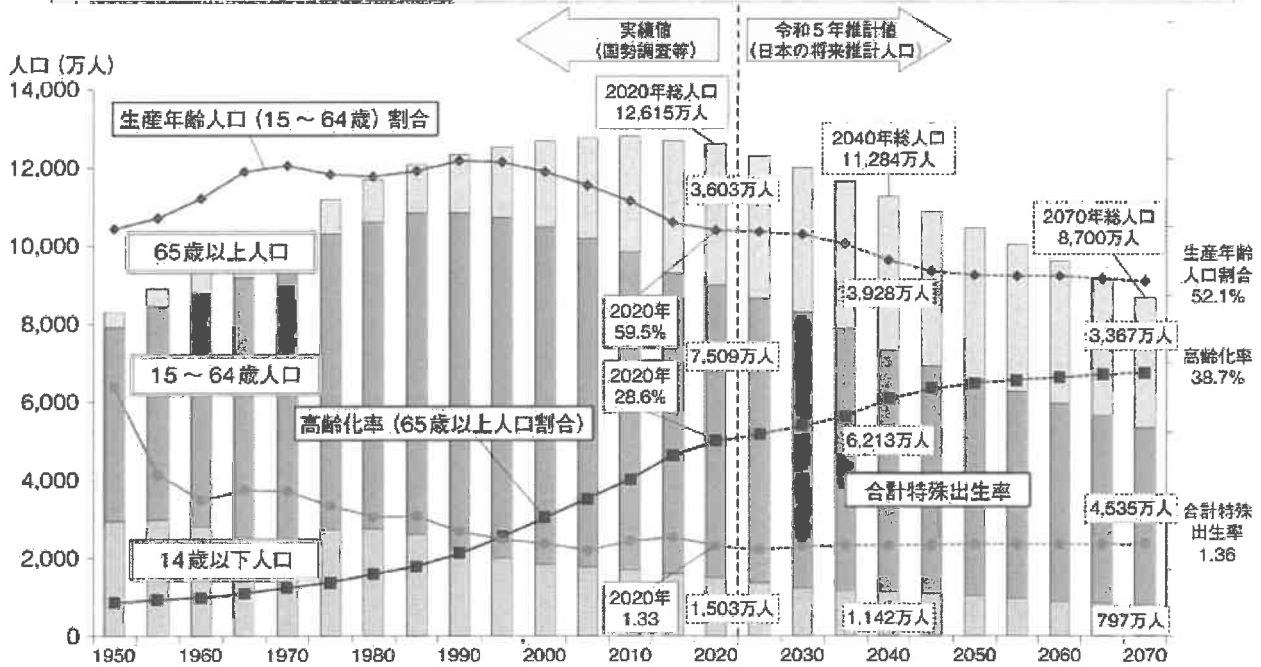
問2. 問1で見出した社会保障の課題について、今後どのように解決したらよいか、あなたの所見を述べなさい。(40点)

「小論文」 2/2

【資料1】

日本の人口の推移

○日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」「人口推計」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (令和5年推計) (出生中位 (死亡中位) 推計)

(出典) 厚生労働省「令和6年版厚生労働白書 資料編」

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/23-2/dl/01.pdf> (最終閲覧日: 2025年7月28日)